

No.1 (地域版)



(平成二年8月31日)(1990)

「地域の中で、共に生き、共に学び、共に遊び、共に働き・・・あたりまえに、人として幸せになって欲しい」と、親として願い、そしてそのように育ててまいりました。地域の方々のご理解と励ましと、さらに、有り難いことに豊富な働きかけのおかげで、人が好きで、素直で、明るい「ひょうきん徹ちゃん」と言われる、楽しい子に育ち、地域の方々に心より感謝いたしております。

しかし、幼児期の子育てに比べ、高校受験や就労問題になりますと、難題続出で、社会の壁は厚いものがあり、落胆することばかりです。

それでも、徹之が「皆と一緒に高校に行きたい」と何度も訴え、また今は「太陽堂で働きたい」と願い、その熱い思いが、親に「がんばろう」というエネルギーを与え、親は高校の門戸を開き、また作業所をつくって就労活動をやろう、という気持ちになってくるのです。そして今、念願の就労へのステップのアルバイトを太陽堂でさせていただいております。



徹之の子育ては試行錯誤の毎日でしたが、主治医の佐々木正美先生（神奈川県小児療育相談センター）は、「想像以上の成長、発達だ」と喜んでくださっています。障害を持つ子への差別や偏見に対して、悲しみを味わう以上に、優しい思いやりと力強い支えに出会うことができ、親としては苦勞に勝る充実感と感動と日々を送れます事を感謝いたしております。この度太陽堂文具店でアルバイトをするにあたり、地域の皆様にご理



こつゆき

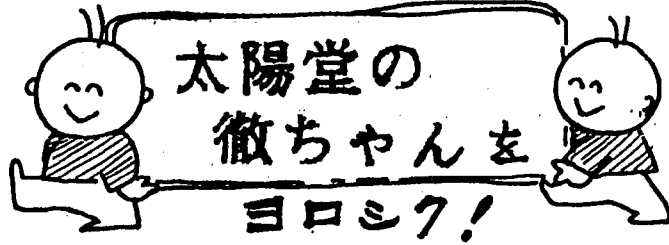
こんにちは、明石徹之です。今、太陽堂で働いております。17才で川崎市立川崎高校定時制の3年生です。夜高校で勉強をしています。上手にお話しができませんけれど、一生懸命上手に話せるように努力しています。勉強もお仕事もがんばっています。太陽堂はとても楽しいです。おーっと岩瀬さんの所へ働きたいです。僕も努力しますので、みなさんよろしくお願ひします。どうぞお店にきて下さい。道であったら、声をかけて下さい。なかなかことばがわからないときもあるけど、笑顔でこたえます。みなさん応援して下さい。

どうぞよろしく。明石こつゆきより



所では、奇異な行動をとり、お騒がせすることもあるかと案じられますが、性格は素直で
 明るい子で、決して人や物に危害を加えたりすることはありません。もし何かご迷惑をお
 かけしたりすることがありましたら、どうか叱って下さい。耳からのことばが入りにくい
 ので、どうか前にまわって目を見て大きな声ではっきり言っ
 てくだされば、不得手なコミュニケーションもきちんと成立し
 ますし、叱られることによって、社会性も一つまた獲得でき
 ます。どうぞよろしくお願いいたします。なおもし感心なことを
 しましたら思いっきり誉めてくださいませんか。徹之はとて
 も幸福に思うでしょう。

(明石洋子)



この度、太陽堂の岩瀬社長の暖かい申し出があり、太陽堂文具店で
 明石徹之君がアルバイトをさせていただけることになり、明石君はもと
 よりあおぞらハウスといたしましては、念願のサービス業なので、一同
 皆喜んでおります。

障害者地域作業所あおぞらハウスは、障害者が少しでも地域の中で地域
 の人達と共に生きていくことを目指しています。日本の障害者福祉は、
 まだ時が浅く障害者への理解は難しいところがあり、一方、障害者の方
 もハンディ故に社会経験が限定され、社会性に乏しく、誤解されることが
 多々あります。しかし、障害があってもいろいろな経験を積むことによ
 り、社会性を身につけ、働くことが可能です。だれもが皆、あたりま
 えに地域のなかで生きていきたいのです。

この度の明石君の初めての就労に際しご理解とご支援のほど、心より
 お願い申し上げ、寛大なお心で受け止めていただければ、ありがたく
 幸せに思います。

あおぞらハウス運営委員一同

あおぞらハウス

川崎市川崎区日進町13-23
 電話 044-222-7682
 245-8295

- *会長 杉浦敬司
☎044-333-4087
- (文責) *事務局長 明石洋子
☎044-588-4049
- *職員 千葉和人
☎0427-96-3099

太陽堂でのアルバイトのスタート時に、お返折にご迷惑をおかけした際に説明用に作成した明石通信
 です。ハプニングをトラブルにしない為に、そして徹之の気持ち、つまりお方を理解してもらう為に。